



MRI 検査を受けられる方へ

MRI は強い磁石の力を利用して体内の画像を得る検査です。
そのため検査を行う際には、金属類を持ち込まないなどの注意が必要です。閉所恐怖症や、妊娠初期での撮影は出来ない場合があります。

- 基本的に以下のものがある場合は検査ができません。
 - ・体内埋め込み型医療機器(ペースメーカー、植込み型除細動器など)
 - ・人工中耳、内耳
- 入れ墨やアートメイクなども染料に金属が使用されていることがあり、火傷や変色などの危険性があるため注意が必要です。

入室前にも確認させていただきますが、ご不明な点・気になることがございましたらスタッフにお問い合わせください。

最近、特に注意が必要なものがあります！

- ・ ネイルアート(特にマグネットネイル、ジェルネイルなど)
- ・ カラーコンタクト(ディファインを含む)
- ・ インスリンポンプ、持続グルコース測定機器(CGM/FGM)



▼ネイルアートは金属成分が含まれていることが多く、爪や皮膚の火傷や変色、ネイルの剥離、焦げたようなニオイが生じるなどの危険性があります。
検査予定日にはネイルアートは除去してお越してください。

▼カラーコンタクトもネイルアートと同様に金属成分を含むものがあるため、外した状態でお越しいただくか、検査直前に外せるようにケースをお持ちください。

▼インスリンポンプ・持続グルコース測定機器は MRI 検査室内に持ち込むことができません。
そのため機器の取り換え予定日と検査予定日が合うように調整が必要です。
かかりつけ医とご相談ください。